

そして行政医師になる

介として自身の経歴と展望を書かせていただきます。 子どもが好きで小児科医師になり、たくさんの子どもや家族に関わり 行政医師として働くことを決意し、令和6年4月に札幌市に入職しま つつ、大学の教官として教育に携わってきました。医師人生の後半を た。今回このような機会を **唄きましたので、恥ずかしながら自己紹**

小樽で水泳を始める

同世代で一番水泳が速かった女子を 校を休んでいました。中学生になり 嫌いだったので、時々仮病を使っては学 間関係をつくることが苦手で学校も 好きになってからは、その子に釣り合 学して水泳を始めてからは、 診を繰り返しましたが、小学校に入 子どもでした。発熱により小児科受 きそばや甘いパフェを楽しみにしている た。週末に家族と食べるあんかけ焼 体は丈夫になりました。しかし、 私は北海道の小樽市で生まれまし 人間になろうと水泳と勉強にエネ すつかり

> でしたが、人との関係を大切にする 医学部に入学することができました。 い勉学の結果に恵まれて北海道大学 師になることを目標にしました。幸 仕事に就きたいと考えて、教師か医 た水泳選手として結果は出せません ルギーを注ぎました。一番の目標だっ

大学生活を満喫する

ちと過ごしました。 を再開し、勉強そっちのけで仲間た 一体になって戦う環境のおかげで、 ちで科学的に考え、試合では仲間と 大体育会水泳部の一員として水泳 魅力的な先輩たちに誘われて北 練習を自分た

とができました。 育大会)で男女総合優勝を勝ち取り、 人生で初めてうれし涙を流しました。

> でした。その年若手トップの先生とN 母子センターである北見赤十字病院

CUのチーフが休職されたため、

子どもと遊びたくて小児科へ

の親子のためにプロジェクターを使った 同期6人と大学研修中に長期入院 ので、北大の小児科に入局しました。 自宅でバーベキューをさせていただいた 映画上映会を企画したり、教授のご ア等で子どもと遊ぶことが好きだった 成15年に大学を卒業し、ボランティ 初期研修制度が始まる前年だった 楽しく医師人生のスター

帝国大学七大戦(全国七大学総合体 は水泳部の主将として出場した、 己記録を更新でき、大学4年の夏に

切ることができました。

親子を救う新生児医療の道へ

卒後2年目の勤務先は総合周産

札幌市北区保健福祉部 保健担当部長 古瀬 優太

平成15年に北海道大学医学部を卒業 し小児科学講座に入局。24年に博士号 を取得し同年神奈川県立こども医療セ ンターの新生児科に国内留学。29年か ら北海道大学病院周産母子センター助 教としてNICU勤務および学生教育に 従事。令和6年4月から札幌市に行政 医師として入職。日本小児科学会専門 医。日本周産期·新生児学会専門医(新 生児)、日本子ども虐待医学会 (講師 代議員)。

の後何年も負けた場面を夢に見る ギリギリ医師国家試験に合格するこ くらい悔しい経験もしました。その 一方で個人的にはライバルに敗れ、そ なまり切った頭を使って何とか

せんでした。

一方で、

自分の対応の

の幸せを心から祈らずにはいられま

いい)、退院のときにはその子と家族 きないほどめんこく(北海道弁でかわ 当した超低出生体重児は、言葉にで 勉強しながら主治医として初めて担 頭で働くことになりました。必死に 務歴半年ほどの自分がNICUの先

子ども虐待に初めて気付く

卒後4年目に普段通り退院させ

選びました。

背中を押され新生児医療を専門に 早産児もいました。そうした経験に 遅れによって脳障害を残してしまった

教師になる夢がかなう しての揺るぎない土台になっています。 平成29年に周産母子センター助教 北海道

時でいう揺さぶられつ子症候群、今な 腫、網膜出血で再入院しました。当

けいれんと硬膜下

した。この国内留学の経験は医師と

できず、 どのメディアで話をさせていただく機 の助教として研究成果を残すことは 会にも恵まれました。しかし、 講師として、講演や新聞、テレビな また、日本子ども虐待医学会の認定 が、臨床実習で虐待を鑑別にあげて 医療や虐待防止について講義を行う 時代に医師と迷った教師になる夢が 指導、関連病院への出張で1か月の ターでの臨床業務と、大学院生への として北大に戻りました。 ることになりました。 検査計画を立てた時は感無量でした。 機会を得ました。講義を聞いた学生 かない、医学生や看護学生に新生児 半分ほどは家に帰れない日々でした。 中の最重症例が集まる周産母子セン 方で大学の教官になったことで高校 医局の方針と食い違うこと 令和6年3月に大学を離れ

生じた虐待でした。そう考えたとき

育児負担などの要因が重なって

に今まで原因不明の乳児死亡や骨折

不本意な早産と親子分離、準備不

会的にも孤立していました。

そこに

評価できておらず、

母親は若くて社

た。振り返ると、父親がどんな人か らAHTと呼ばれる身体的虐待でし

何の疑いも持っていなかったことに気付 顔にあざをつくってくる子どもたちに

勉強のために日本子ども虐

そして行政医師になる

た神奈川県立こども医療センターで 院卒業後に国内留学させていただい

当然のように妊娠中から両親と

多職種で話し合いを繰り返し、

CU入院中

も家族が連日面会しなが

防接種がてら家族のサポー

トを継続

行政と連携し、

出産後も外来で予

虐待リスクを妊娠早期から評価して 待を予防するために助産師と一緒に ました。虐待が表面化してからでは 待医学会 (当時は研究会)に入会し

誰も救うことはできないと考え、虐

するシステムをつくりました。大学

児医療を支えるか、 医局の垣根を越えて北海道の新生 発達障害医療

ら病状や治療方針を共有できるファ

-センタードケアが行われていま

はなく、 をやりたいときには、気持ちだけで 幸先生と面談させていただき、「何か 係する先生方に進路を相談しまし て働くかの3つについて、それぞれ関 の分野を勉強して専門機関で働くか 和6年4月に札幌市に医師職として ある」という言葉に感銘を受け、 療・保健衛生担当局長である西條政 弥先生と寺田健作先生を通じて医 た。行政医師に関しては同門の古澤 全人的に健康を診る行政医師とし 人職させていただきました。 アイデアとやり方が重要で

新しい夢ができる

幼児健診を毎週行いながら、さまざ 病院では手が届かなかった家族を救 育てる仕事や性教育、 活改善や健康づくりに関わる人材を 定に責任を持ちます。また、食生 まな困難を抱えた家庭に対する決 健康を支える立場になりました。乳 担当部長という職位を頂き、 こと」という言葉の重みを再認識し、 全に良い状態(ウェルビ に疾病や虚弱ではないということでは 育などにも関わります。「健康とは単 札幌市北区の保健福祉部で保健 肉体的、 精神的、 虐待予防教 イング)である 社会的に完 区民の

現在の日本では、1割以上の小学

夢です。 れています。 尊敬できる上司や同僚に恵まれ、人 年の全国調査では1歳半までに単語 を良くできるように精進したいと考 験と職能を生かして少しでも世の中 として成長できる環境に感謝しなが に戦った日々を思い出させてくれます 働く日々は、大学水泳部で仲間と共 現場で、多職種の仲間と肩を並べて る世の中をつくることが、今の自分の 子どもを生んだ母親が、当たり前に 親と子どもだけの家庭で、そのうち 子育て中の15世帯に1世帯がひとり 成12年の同調査では約3%)と報告さ が一つも話せない子どもが約13%(平 生に何らかの支援が必要で、令和5 う責任と可能性を感じています えています。 もたちが当たり前に幸せに成長でき 心豊かに育児ができ、 4%が相対的貧困といわれています。 残り半分の医師人生で自分の経 医師が主役ではない行政の 少子化といわれる中で、 生まれた子ど

- ■参考文献 1) 文部科学省 通常の学 級に在籍する特別な 教育的支援を必要と する児童生徒に関す る調査結果について (令和4年)
- 2) こども家庭庁 令和5
- 3)厚生労働省 2022(令 和4)年 国民生活基 礎調査結果